

## 医学研究センター

## 研究評価部門

椎橋 実智男

(部門長)

研究評価部門の現在の主な活動は、本学独自の研究業績データベースシステム(「業績プロ」)の運用による、本学の研究業績のデータベース化および独立行政法人科学技術振興機構が運用する「新世代研究基盤リード&リサーチマップ(ReaD&Researchmap)」と連携した本学の研究業績の公開である。また、2013年度から「埼玉医科大学21世紀ビジョン会議」のもとに設置された「日本のMayo Clinicを目指す会」による教員の研究と診療の専門性に関するデータベースの運用も開始した。これらを通して、本学の研究活動の発展に寄与すべく活動を続けている。以下に、平成25年度の状態を報告する。

## 1. 研究業績データベースシステム(「業績プロ」)について

## 1) 概要

「業績プロ」は、本学独自の研究業績データベースシステムで、本学の全研究者を対象に研究に関わる情報を蓄積し、学内に公開するシステムである。

<http://mrc-gdd.saitama-med.ac.jp/smsap/P300>

(医学研究センターのホームページからもリンクあり)

平成26年3月現在、医学部と保健医療学部をあわせて1,243名の研究者が登録されている。利用(アクセス)の状況を図1に示す。

## 2) 運用の状況(平成25年4月から平成26年3月まで)

- 5月 保健医療学部の教員に対する利用説明会の実施
- 5月 中央研究施設を利用した研究成果のデータの提出
- 6月 国際医療センターへの研究業績の提出(JCI受審)
- 7月 研究に関わる人事考課のためのデータダウンロード(各研究者が実施)
- 8月 大学病院への研究業績の提出(特定機能病院)
- 12月 ReaD&Researchmapとのデータ交換の実施

## 3) ReaD &amp; Researchmap と e-Rad とのID連携

ReaD & Researchmap と e-Rad とのID連携サービスが開始され、これを取得すれば個人によるデータ更新が可能になった。本学の研究者が希望する場合は、一定の条件の下で個人によるデータ更新を認めることになった。

## 2. 教員の研究と診療の専門性に関するデータベースについて

## 1) 概要

「埼玉医科大学21世紀ビジョン会議」のもとに設置された「日本のMayo Clinicをめざす会」では、診療と研究をより活性化するために、教員の研究と診療の専門性の学内における共有を提言した。これを受け、医学研究センター長の指示のもと、研究評価部門が教員の専門性データベースのプロトタイプを作成し、試験運用することとなった。

<http://smswww/mayo/senmonsei/database/>

## 2) 運用の状況(平成25年4月から平成26年3月まで)

より幅広い活用と迅速なデータ更新を目的に、「業績プロ」の機能を拡張して組み入れる方向で検討を開始した。

# 研究業績データベース アクセス率の比較

2014.3.31

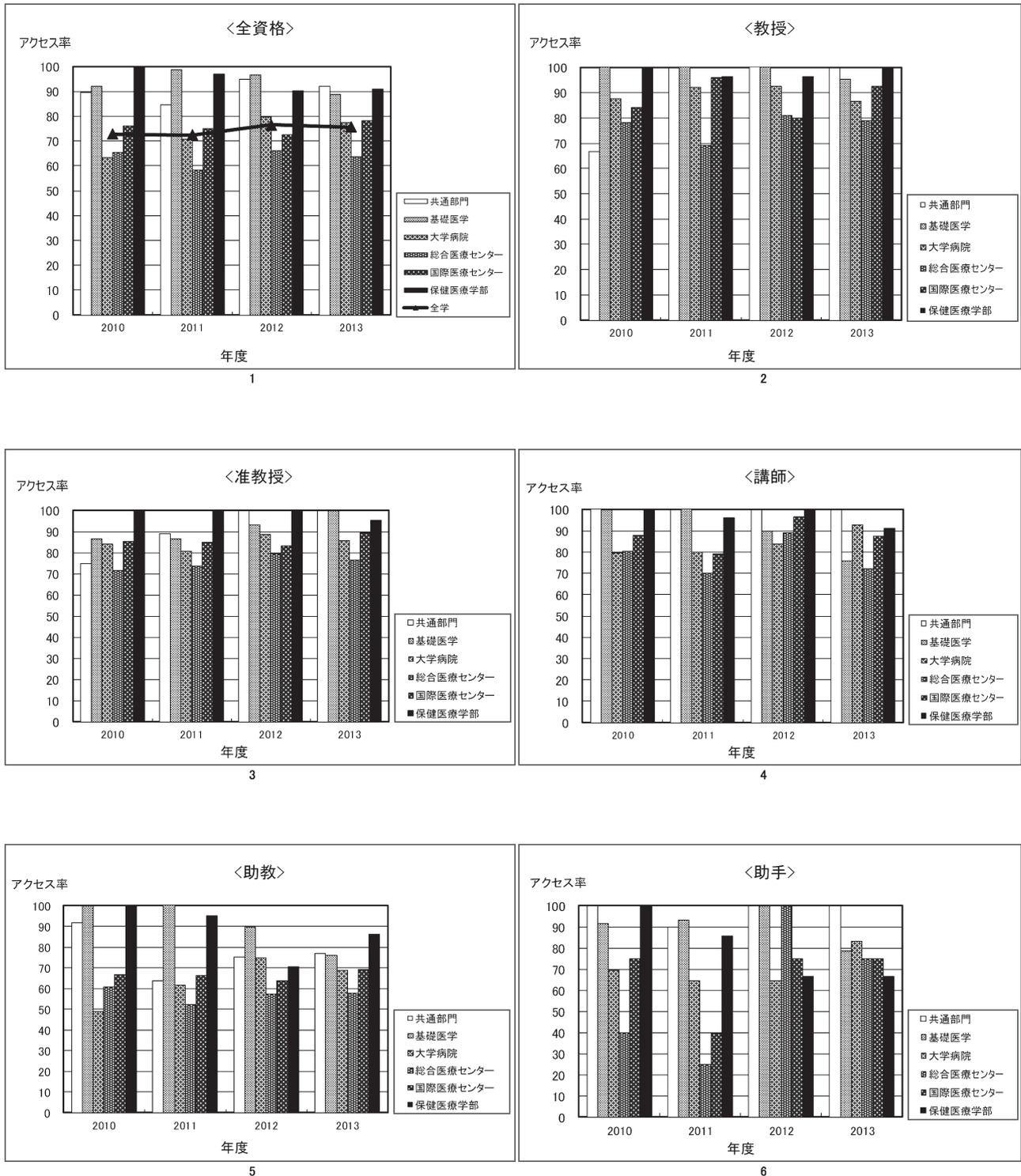


図 1.